



# 交通安全ニュース



R 3. 3. 8

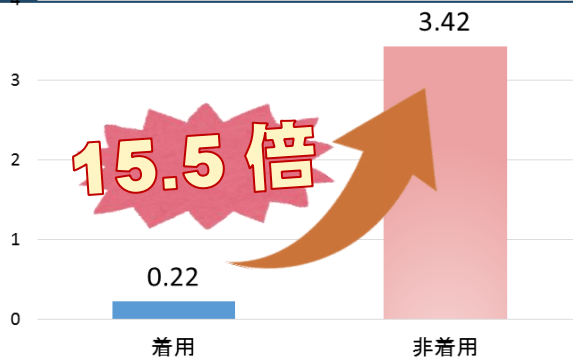
**No. 3 - 8**

香川県警察本部  
交通部交通企画課

## シートベルトのおかげで 車体がちぎれても

# ドライバーは軽傷でした

令和3年、高速道路上で  
貨物車が横転、  
キャabinは車体から離れ、  
天井を下にして  
道路脇に衝突しましたが、  
シートベルトを着用していた  
ドライバーは  
奇跡的に軽傷でした。



四輪乗車中の交通事故での致死率  
(死傷者のうち、死者の占める割合)は、  
シートベルト非着用の場合、着用  
の場合と比べて **15.5倍** にのびます。

令和2年警察庁調べ

今では当たり前となった3点式シートベルトは、1959年に技術者ニルス・ボーリンによって発明されました。1960年代以降、ボーリンのシートベルトは交通事故による深刻な人身の損傷を回避もしくは軽減することで、多くの人の命を救っています。  
このためドイツの特許登録機関は「1885年から1985年の100年間で人類に大きく貢献した8つの最も重要な発明」に選出しました。

シートベルトは

- 肩ベルトが首にかからず、鎖骨から胸骨を通るように、
- ベルトのたるみやねじれをがないか確認し、
- 深く座って、腰ベルトが骨盤を巻くように、  
すべての座席で、正しく着用しましょう。